

令和6年度 高千穂町立田原小学校 学校評価書

学校経営ビジョン：知・徳・体のバランスのとれた田原っ子の育成

【評価】 4：よい、3：だいたいよい、2：もう少し、1：よくない

重点目標	評価項目	平均（4点満点）期待値：3.2						考察及び改善策	学校運営協議会委員の意見
		児童	保護者	委員	職員	平均	総合		
確かな学力の定着	① 学校は、一人一人に応じた「わかる」「できる」授業を行い、学習内容を定着させ、学力を向上させようと努力している。	3.5	3.6	3.8	3.3	3.5	3.4	「確かな学力の定着」に関する総合評価は、4点満点中「3.4」で、達成率85%である。 ①の「分かる」「できる」授業の評価は平均「3.5」で達成率87%であった。学校訪問や管理職も行う一人一授業等を活用し、授業改善に努めてきた。今後も、相互参観を取り入れ、日々情報交換しながら「対話」を取り入れた田原小ならではのきめ細かな授業を継続して実践する。 ②の「タブレットを活用した授業」に関する評価は、平均「3.6」で達成率90%であった。一人一端末の授業スタイルが定着し、全学級でICT機器を活用した授業実践が行われた。今後は、授業のどの場面で活用するとより学習効果が高まるかの検証を行い、指導方法の工夫改善を行いたい。 ③の「読書」に関する評価については、平均「3.2」で、達成率80%である。今年度は、読書推進委員が町内に配置され、図書担当と連携しながら、読書推進に取り組んだ。また、夏季休業を中心に、図書室の環境整備を行い、図書室としての機能を充実させた。2月3日現在で約3600冊を貸し出しているが、朝の読書の時間に読んだ冊数を加えると、4000冊程度の読書数が見込まれる。次年度は、150周年記念事業で新書の購入が見込まれるので、児童が足を運びたくなる「魅力ある図書室」を目指し、更に工夫を重ねていきたい。	○小規模校の利点を活用し、着実な学力と個性を伸ばしてほしい。 ○少人数ならではの学習に取り組んでいただき、個の力を伸ばしていくように頑張ってほしい。 ○「分かる」「できる」の評価は、先生たちの工夫された授業により改善につながっているので、引き続き、きめ細かな授業を続けてほしい。 ○図書室もリニューアルされ、児童にとって通いやすいものになったと思うので、引き続き「魅力ある図書室」にしてほしい。 ○読書に関する評価を感じたことは、本を読むことが好きな子もいれば、あまり好きでない子もいる。自分で読むこともよいが、本好きになるために人に読んで聞かせる喜びを感じるための読み聞かせ会等の機会を設けてみるとよいと思う。また、本を選ぶ楽しさも感じてほしい。増書にこだわらなくてもよい。 ○図書に関しては、町の図書館、県立図書館との図書の交流ができると蔵書に捉われない運営もできると考える。また、読書推進委員の配置で本好きの子は更に本好きになったように思う。
	② 担任は、タブレット等を活用し、参観日や研究授業・相互参観等授業公開を通して、日々授業改善を行い、授業力向上に努めている。	3.6	3.6	3.8	3.4	3.6			
	③ 学校は、児童が進んで読書をするように、読み聞かせや本を選びやすい図書室環境の工夫等努力している。	3.2	3.1	3.8	2.8	3.2			
豊かな心の育成	④ 学校は、道徳・人権教育やよりよい人間関係づくりの推進に努めている。	3.6	3.4	3.8	3.3	3.5	3.2	「豊かな心の育成」に関する総合評価は、「3.2」で、達成率80%である。 ④の「よりよい人間関係」の推進は平均「3.5」で達成率87%であった。職員の評価が、昨年度の「3.0」より向上したのは、日頃の職員間の連携や「風通しのよい職場」を目指した研修を通して、日常から児童についての情報交換を積極的に共有した成果と思われる。一部固定化した人間関係も見られるが、今後も全ての教育活動において、よりよい人間関係を築くことを意識した指導を行いたい。	○豊かな心の育成については、評価がもっと高くもよいのではと感じる。田原地区は、地域の目、地域力も生きていると思う。 ○少人数だとどうしても自分の立つ位置が固定化されてしまうので、職員間で児童についての情報交換を引き続き共有してほしい。また、児童の間でそれぞれの良いところを見つけて広げてほしい。 ○ほとんどの学校で児童に会うことはないが、会ったときは元気においさつしてくれる。 ○廊下でそれ違う時はよくあいさつをしてくれる。 ○児童のあいさつが良く、登校中でも地域のみなさんも元気をもらっている。 ○メディアのメリットとデメリットも理解する必要がある。両方学校の補助となればよい。 ○メディア利用のルールをきちんと守れるよう、家庭でのルール作りが大切。 ○保護者が、SNSについてある程度知っておくことが大切。SNSでの危険な言葉が気になる。
	⑤ 児童は、「おはようございます」「こんにちは」等のあいさつをよくしている。	3.6	3.6	3.8	3.0	3.5			
	⑥ 児童は、家庭のルールに沿った(1日、1時間等)のメディアコントロールを実践している。	2.9	2.2	3.0	2.6	2.7			
健やかな体の育成	⑦ 児童の体力が、向上していると感じる。	3.5	3.6	3.8	2.3	3.3	3.5	「健やかな体の育成」に関する総合評価は、「3.5」で、昨年度と同様の達成率87%である。 ⑦の「体力向上」の推進は平均「3.3」で達成率82%であった。県の体力テストにおいて最上位の「A」判定が10名(30%)であり、朝の体グングンタイムや体育の授業・昼休みの外遊びの成果だと考えられる。しかし、職員の評価が「2.3(57%)」と低く、児童の体力の二極化について課題を感じていることが分かる。	○山間部の児童の体力育成にはまだ課題があるのかと思う。学校、家庭、地域が連携して取り組むべき課題と実践手法を共有できたらと思う。 ○高学年になるほど、外での遊びをやらなくなる傾向があるので、学校内でのちょっとした体操、昼休みの外遊びを励行してほしい。 ○感染症に関しては、他校と比べて感染者も少なく、しっかり感染対策が取れていると思う。 ○今まで校内や校外で大きな事故や怪我無く過ごせているのは、先生方の日頃の指導の賜物だと思う。 ○避難訓練等を定期的に行い、意識づけていくことが大切だと思う。 ○様々な災害等がいつ起こるか分からぬという意識を常に持ち、人の話をしっかりと聞くという態度は、大切だと思う。 ○地域の方に見守ってもらっていることが分かる。また、警察官に話をしてもらう機会を設けるのもよいと思う。
	⑧ 児童に、けがや病気・食育等、健康に関する望ましい態度や習慣が身に付いている。	3.5	3.2	3.5	3.8	3.5			
	⑨ 児童に、災害や不審者・交通安全等、安全に関する意識が高まっている。	3.7	3.5	4.0	4.0	3.8			
家庭地域との連携	⑩ 児童に、家庭や児童クラブで宿題をする等、学習習慣が身に付いている。	3.6	3.2	4.0	3.3	3.5	3.6	「家庭地域との連携」に関する総合評価は、4点満点中「3.6」で、達成率90%である。特に、3項目に關し、運営協議会委員は「4.0」の達成率100%である。 ⑩の「家庭や児童クラブでの学習習慣」に関する項目は平均「3.5」で達成率87%と昨年度よりやや上回っている。学校における宿題の提出率は9割以上と、学習習慣の定着がうかがえるが、職員の評価が低いことから、個別の課題も伺える。今後も、参観日や各種通信等を活用し、保護者との連携を図りたい。	○児童クラブにおける学習は、個々に応じてしっかりと指導がなされているのを感じる。家庭学習においては、学校に任せのではなく、親の対応が大事だと思う。 ○ホームページの作成・運営に感謝をしている。引き続き現状維持してほしい。 ○学校の発信力で、地域の子どものいない家庭からの関心も高まっている。コミュニティ・スクールの観点からも、地域とのつながりを大事にしていきたい。 ○地域を知るために、新しい取組(しゃべり場やワクワク地区別活動)をとおして、地域の知らなかつたことが分かり、児童の住む地域を再発見することができた。更に地域に興味をもってほしい。地区で事前の連携がとれておらず課題が残り、次年度は改善していきたい。 ○「ワクワク地区別活動」では、先生方に校区内を歩(さる)いてもらうことで、地域の伝統文化、風習を感じてもらえるのではと思う。指導の一助になればと思う。 ○「しゃべり場」や「ワクワク地区別活動」など地域とともに活動する行事があり良かったと思う。計画等色々大変かと思うが、次年度もみんなで楽しめればいいと思う。 ○「しゃべり場」はとてもいい体験をさせていただいた。児童素直な意見も聞くことができ、ぜひこの様な場を設けてほしい。
	⑪ 学校は、各種通信やHP等で家庭や地域へ積極的に情報発信をしている。	3.1	3.5	4.0	3.4	3.5			
	⑫ 学校は、地域との積極的な交流を計画し、ふるさと高千穂の魅力を発見し、ふるさとを愛する児童の育成に取り組んでいる。	3.8	3.6	4.0	3.5	3.7			
教職員の質の向上	⑬ 学校の職員は、法令を遵守し、地域に信頼される行動を取っている。	3.8	3.6	3.8	3.8	3.7	3.7	「教職員の質の向上」に関する総合評価は、4点満点中「3.7」で、昨年に続き達成率92%である。 ⑬の「職員が法令を遵守し、地域に信頼される行動を取っている」、⑭の「職員が田原小学校のために努力している」かどうかを評価する項目は、保護者等から平均「3.6」(達成率90%)の評価を得た。これは、地域とともにある学校づくりを目指して、職員が学校長のリーダーシップの下、ビジョンを共有し、日々質の高い教育実践を行っている成果だと考えられる。今後も「児童を大切にする教師」、「児童とともに伸びる教師」、「信頼される教師」を意識し、田原小学校のみならず、地域の発展に貢献する「チーム田原」を目指していきたい。	○校長先生や教頭先生をはじめ、先生方は地域行事によく参加されていると思う。今後とも、地域と学校が一体となって、児童を育ててほしいようにお願いしたい。 ○児童も地域の人たちも常に学校職員の後姿を見ているので、今後も引き続き、地域の方々に信頼される行動をとてほしい。 ○県内在住の先生方との交流が、地域にとっては新鮮な風となって良い意味での刺激となっている。学習指導力の強化に努めていることに感謝している。評価が高いことは最もだと思う。 ○思いやり、やさしさ、仲の良さが(職員間)今児童に反映されている。
	⑭ 学校の職員は、授業や学校行事等、地域の発展のため努めている。	3.8	3.6	4.0	3.1	3.6			